

**第91期 事業報告書**

2019年4月1日～2020年3月31日



代表取締役  
会長執行役員

## 北野 晶平



代表取締役  
社長執行役員

## 藤澤 一郎

株主の皆様には日頃より格別のご高配

を賜り、ありがたく厚く御礼申し上げます。

さて、第91期(2019年4月1日~2020

年3月31日)における事業の概要について

ご報告申し上げます。

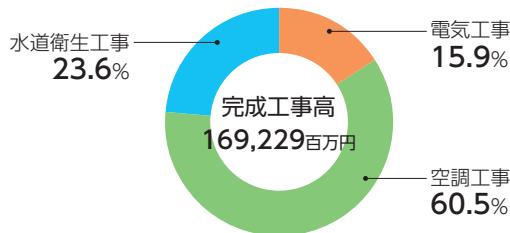
当連結会計年度における当社グループを取り巻く事業環境につきましては、企業収益の堅調さに支えられ、設備投資は底堅く推移し、また雇用・所得環境も改善傾向の持続がみられました。しかしながら新型コロナウイルスの感染拡大は海外経済全体に大きな影響を与え、株価や為替相場に不安定な情勢を招きました。国内においても経済活動の自粛によるダメージは大きく、影響が長期化した場合には、雇用・所得環境の悪化により消費の回復に相応の時間を要することが懸念されます。

建設業界におきましても、緊急事態宣言の発令後、多くの現場が閉所されるなど、工事の進捗に遅れが生じることが予想され、先行き不透明な状況が続いています。

当社グループの受注工事高は、前連結会計年度比7.3%増(115億8千7百万円増)の1,701億2千1百万円となりました。その部門別内訳は、電気工事18.1%、空調工事60.3%、水道衛生工事21.6%であり、主な受注工事は、日立ハイテクノロジーズ那珂事業所新棟 空調・水道衛生工事、九段南一丁目プロジェクト 空調工事、(仮称)兵庫県立はりま姫路総合医療センター 水道衛生工事、伸晃化学川北工場 空調・水道衛生工事、トヨタ記念病院新本館 電気工事などです。

完成工事高につきましては、前連結会計年度比8.8%増(136億6千4百万円増)の1,692億2千9百万円となりました。その部門別内訳は、電気工事15.9%、空調工事60.5%、水道衛生工事23.6%であり、主な完成工事は、東京国際空港第2ターミナル国際線施設 空調工事、GRANODE広島 電気・空調・水道衛生工

### セグメント別完成工事高比率



事、大丸心斎橋店本館建替 電気工事、星のや沖縄 空調・水道衛生工事、古町通7番町地区再開発古町ルフル 空調・水道衛生工事などであります。

この結果、次期への繰越工事高は、前連結会計年度比0.7%増(8億9千2百万円増)の1,242億2千8百万円となりました。

利益面につきましては、営業利益は前連結会計年度比18.3%増(14億1百万円増)の90億6千3百万円となりました。経常利益は前連結会計年度比15.2%増(12億2千4百万円増)の92億8千2百万円となりました。この結果、親会社株主に帰属する当期純利益は前連結会計年度比17.1%増(9億3千4百万円増)の63億9千9百万円となりました。

2020年3月期において、当社は中期経営計画の各項目を前倒しで達成いたしました。そして本年度、中期経営計画の最終年度を迎えておりますが、新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の危機の発生により、当社を取り巻く経営環境は厳しい状況が見込まれております。中長期的な見通しにつきましても、コロナ

ショック以前とは状況が急激に変わっており、感染収束の時期いかにによりますが、現段階では不透明と言わざるを得ません。

アフターコロナは、世界の様相が劇的に変わることは間違いなく、建設業界においても、テレワークが進展するなど働き方が大きく変貌し、デジタル革命がますます促される可能性があります。また、産業界全体での投資の抑制に伴い、受注環境が厳しくなることも予想されます。

そのような状況下で、当社は、従業員の雇用と、協力会社ネットワークの維持が最優先の課題であると考えております。従業員等の健康と安全に十二分に留意しながら、医療施設やインフラ関連、輸送等、社会機能維持に関する重要な建物に関わる仕事を通じて社会的使命を果たしてまいります。

また、IT化進展などの建設業の変容に備えたインフラを整備するとともに、今後の産業構造の大転換に対応できるよう、準備を進めてまいります。

株主の皆様には、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

業績目標 (連結)	第92期(最終) 2021年3月期	第91期(進捗) 2020年3月期
受注工事高	1,510億円	1,701億円
完成工事高	1,510億円	1,692億円
営業利益	80億円	90億円

経営指標 (連結)	第92期(最終) 2021年3月期	第91期(進捗) 2020年3月期
営業利益率	5.3%	5.4%

工事部門	前期繰越工事高	受注工事高	完成工事高	次期繰越工事高
電気工事	15,468(百万円)	30,885(百万円)	26,840(百万円)	19,513(百万円)
空調工事	77,502	102,515	102,432	77,585
水道衛生工事	30,365	36,720	39,956	27,129
計	<b>123,336</b>	<b>170,121</b>	<b>169,229</b>	<b>124,228</b>

光と空気と水。そのすべてをトータルにコントロールする統合技術。  
優れた技術が響きあい、ひとつに溶けあうことで、より快適な、新しい環境が生まれます。

ステージを映し出すきらびやかな照明。建物を夜の街に美しく映し出すライト。  
光によって映し出される世界は、人々に感動をもたらします。  
こうした感動の創造もダイダンの仕事です。

# 光

Light

## 電気設備工事

電力設備

防災設備

情報通信設備

特殊電気設備

その建物に適した空気を供給し、かつ、その建物に集う人々の快適を追及すること。  
そして、地球にやさしい空調技術で、省エネルギーにも貢献する。  
それがダイダンの空調技術です。

# 空気

Air

## 空調設備工事

環境空調設備

医療施設向け空調設備

産業施設向け空調設備

特殊施設向け空調設備

人々の生活と水は切り離すことのできない関係。  
ダイダンは常に高品質な生活用水を供給するとともに、高度な水処理設備によって、環境にも配慮。  
人と水の間関係をさらに快適なものにします。

# 水

Water

## 給排水衛生設備工事

給排水設備

消火設備

ユーティリティ設備

特殊施設向け衛生設備

## 第91期の主な施工実績



GRANODE広島 電気・空調・水道衛生工事



大丸心斎橋店本館建替 電気工事



星のや沖縄 空調・水道衛生工事



古町通7番町地区再開発古町ルフル 空調・水道衛生工事

## 第91期(2019年度)完成工事

東京国際空港第2ターミナル国際線施設 空調工事

GRANODE広島 電気・空調・水道衛生工事

大丸心斎橋店本館建替 電気工事

星のや沖縄 空調・水道衛生工事

古町通7番町地区再開発古町ルフル 空調・水道衛生工事

## 第91期(2019年度)受注工事

日立ハイテクノロジーズ那珂事業所新棟 空調・水道衛生工事

九段南一丁目プロジェクト 空調工事

(仮称)兵庫県立はりま姫路総合医療センター 水道衛生工事

伸晃化学川北工場 空調・水道衛生工事

トヨタ記念病院新本館 電気工事

## 再生医療の関連事業を推進する新会社 「セラボヘルスケアサービス株式会社」を設立。

再生医療分野に特化した100%子会社「セラボヘルスケアサービス株式会社」を設立し、2020年4月より営業を開始いたしました。

ダイダンは、再生医療の普及と関連事業の創出を目指して、2017年4月に「ライフイノベーションセンター」(神奈川県川崎市)内に、オープンラボ「セラボ殿町」を開設しました。そこで医療施設やベンチャー企業の細胞培養加工施設(CPF)のエンジニアリングを手掛けるとともに、細胞培養加工に適した環境を構築する「エアバリアブース®」や「オールインワンCPユニット®」などを開発し、納入実績を積み重ねてきました。

新会社では、これらの実績とともに培ってきたアカデミアやベンチャー企業との連携の成果をもとに、関連サービスを提供してまいります。

### サービス内容

- 細胞培養加工施設(CPF)の運用・構築コンサルティング、設計・監理
- 再生医療向けの装置・機器類の製造・販売
- 細胞培養加工施設(CPF)のレンタル、運用支援、細胞製造受託など

コンパクトなクリーンルーム、はじめました。

**All-in-one CP Unit** Cell Processing  
オールインワンCPユニット



再生医療のための環境づくりに信頼と実績を

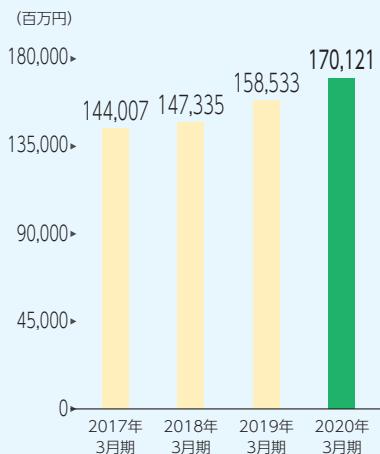
**セラボヘルスケアサービス株式会社**

<https://www.cellabhs.co.jp/>

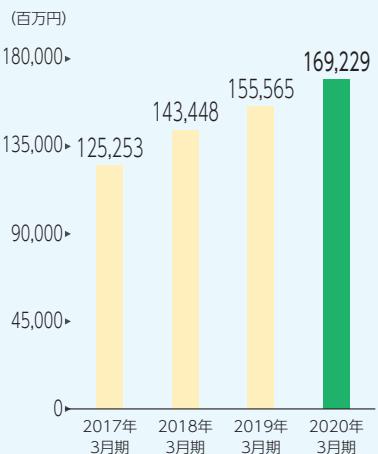


# 財務ハイライト(連結)

## 受注工事高



## 完成工事高



## 経常利益



## 親会社株主に帰属する当期純利益



## 総資産・純資産・自己資本比率



## 1株当たり純資産額



(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。2017年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり純資産額」を算定しております。



# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度末 (2020年3月31日現在)	前連結会計年度末 (2019年3月31日現在)
<b>【資産の部】</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	21,643	12,803
受取手形・完成工事未収入金	59,071	58,088
電子記録債権	10,817	14,814
未成工事支出金	455	509
その他	2,134	2,705
貸倒引当金	△ 8	△ 8
<b>流動資産合計</b>	<b>94,114</b>	<b>88,913</b>
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	5,136	5,198
無形固定資産	335	457
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	14,443	16,129
退職給付に係る資産	7,632	8,675
その他	1,558	1,536
貸倒引当金	△ 170	△ 183
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>23,462</b>	<b>26,159</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>28,934</b>	<b>31,815</b>
<b>資産合計</b>	<b>123,049</b>	<b>120,728</b>

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度末 (2020年3月31日現在)	前連結会計年度末 (2019年3月31日現在)
<b>【負債の部】</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形・工事未払金	20,668	20,763
電子記録債務	10,721	9,796
短期借入金	3,735	3,826
未払法人税等	2,119	1,149
未成工事受入金	1,027	1,574
株式給付引当金	35	—
完成工事補償引当金	85	85
工事損失引当金	644	138
その他	12,591	12,244
<b>流動負債合計</b>	<b>51,629</b>	<b>49,578</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,947	1,543
繰延税金負債	752	1,903
退職給付に係る負債	1,291	1,299
海外投資損失引当金	7	5
長期末払金	5	6
その他	5	0
<b>固定負債合計</b>	<b>4,010</b>	<b>4,759</b>
<b>負債合計</b>	<b>55,639</b>	<b>54,338</b>
<b>【純資産の部】</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	4,479	4,479
資本剰余金	4,837	4,809
利益剰余金	55,857	51,412
自己株式	△ 2,336	△ 690
<b>株主資本合計</b>	<b>62,837</b>	<b>60,011</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	5,134	6,172
為替換算調整勘定	33	22
退職給付に係る調整累計額	△ 804	10
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>4,362</b>	<b>6,205</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>209</b>	<b>172</b>
<b>純資産合計</b>	<b>67,409</b>	<b>66,390</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>123,049</b>	<b>120,728</b>

### POINT 連結貸借対照表

流動資産は、前連結会計年度末比5,200百万円増の94,114百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加8,840百万円が電子記録債権の減少3,997百万円を上回ったことによるものです。固定資産は、前連結会計年度末比2,880百万円減の28,934百万円となりました。主な要因は、投資有価証券の減少1,686百万円及び退職給付に係る資産の減少1,043百万円によるものです。流動負債は、前連結会計年度末比2,050百万円増の51,629百万円となりました。

した。主な要因は、電子記録債務の増加924百万円及び未払法人税等の増加970百万円によるものです。固定負債は前連結会計年度末比749百万円減の4,010百万円となりました。主な要因は、繰延税金負債の減少1,151百万円等によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末比1,019百万円増の67,409百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加4,444百万円等によるものです。

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度末 (2020年3月31日現在)	前連結会計年度末 (2019年3月31日現在)
完成工事高	169,229	155,565
完成工事原価	148,172	136,453
完成工事総利益	21,056	19,111
販売費及び一般管理費	11,993	11,450
<b>営業利益</b>	<b>9,063</b>	<b>7,661</b>
営業外収益		
受取利息	9	11
受取配当金	359	349
不動産賃貸料	34	34
受取保険料	90	107
為替差益	—	19
その他	3	13
<b>営業外収益合計</b>	<b>497</b>	<b>535</b>
営業外費用		
支払利息	124	121
支払保証料	6	5
為替差損	128	—
その他	19	12
<b>営業外費用合計</b>	<b>278</b>	<b>139</b>
<b>経常利益</b>	<b>9,282</b>	<b>8,057</b>
特別利益		
投資有価証券売却益	123	—
関係会社清算益	70	—
<b>特別利益合計</b>	<b>194</b>	<b>—</b>
特別損失		
固定資産除却損	78	—
投資有価証券売却損	51	—
投資有価証券評価損	124	111
<b>特別損失合計</b>	<b>255</b>	<b>111</b>
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>9,222</b>	<b>7,945</b>
法人税、住民税及び事業税	3,148	2,407
法人税等調整額	△ 333	69
<b>法人税等合計</b>	<b>2,815</b>	<b>2,476</b>
当期純利益	6,406	5,468
非支配株主に帰属する当期純利益	6	3
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>6,399</b>	<b>5,464</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度末 (2020年3月31日現在)	前連結会計年度末 (2019年3月31日現在)
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,742	△13,541
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 636	△ 232
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,240	△ 1,317
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 24	9
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,840	△15,081
現金及び現金同等物の期首残高	12,776	27,858
現金及び現金同等物の期末残高	21,616	12,776

### POINT 連結損益計算書

完成工事高は、前連結会計年度比13,664百万円増の169,229百万円となりました。

完成工事総利益は、前連結会計年度比1,944百万円増の21,056百万円となりました。

営業利益は、完成工事総利益の増加により、前連結会計年度比1,401百万円増の9,063百万円となりました。

経常利益は、為替差損の計上により営業外費用が増加したものの、営業利益の増加により、前連結会計年度比1,224百万円増の9,282百万円となりました。

親会社に帰属する当期純利益は、特別利益として投資有価証券売却益123百万円等、特別損失として投資有価証券損124百万円等を計上し、法人税、住民税及び事業税、法人税等調整額及び非支配株主に帰属する当期純利益を控除した結果、前連結会計年度比934百万円増の6,399百万円となりました。

### POINT 連結キャッシュ・フロー計算書

現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末比8,840百万円増の21,616百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は12,742百万円(前連結会計年度は13,541百万円の資金の減少)となりました。

主な要因は、税金等調整前当期純利益の計上及び売上債権の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は636百万円(前連結会計年度は232百万円の資金の減少)となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は3,240百万円(前連結会計年度は1,317百万円の資金の減少)となりました。

主な要因は、自己株式の取得による支出及び配当金の支払によるものです。



# 株式の状況／会社の概要 (2020年3月31日現在)

## 発行株式数及び株主数

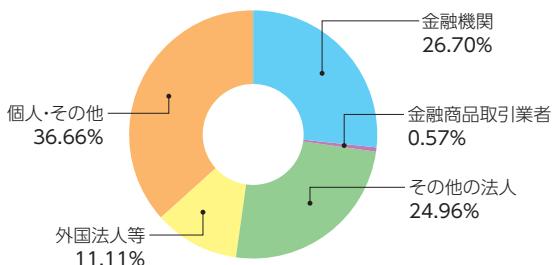
- 発行可能株式総数 ..... 40,000,000株
- 発行済株式の総数 ..... 22,981,901株
- 株主数 ..... 3,242名

## 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東京大元持株会	1,064	4.87
株式会社三菱UFJ銀行	973	4.46
大阪大元持株会	755	3.46
有楽橋ビル株式会社	738	3.38
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	721	3.30
ダイダシ従業員持株会	720	3.30
三信株式会社	559	2.56
名古屋大元持株会	538	2.46
株式会社みずほ銀行	479	2.19
株式会社三井住友銀行	477	2.18

- (注) 1. 上記の他、日本マスタートラスト信託銀行株式会社が「役員報酬BIP信託口」として保有する株式が150,000株あります。なお、上記も含めた当該株式871,600株は全て信託業務に係るものであります。
2. 当社は自己株式1,166,396株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。なお、自己株式には、役員報酬BIP信託口が保有する当社株式(150,000株)は含んでおりません。
3. 持株比率は、自己株式1,166,396株を控除して計算しております。

## 所有者別分布



## 会社概要

社名	ダイダシ株式会社
英文社名	DAI-DAN CO., LTD.
創業	1903年3月4日
設立	1933年10月10日
所在地	<本店・大阪本社>大阪市西区江戸堀1丁目9番25号 <東京本社>東京都千代田区富士見2丁目15番10号
資本金	4,479,725,988円
事業内容	電気工事、空調工事、水道衛生工事の設計、監理、施工ならびにこれらに関連する事業
従業員数	1,617名

## 役員一覧 (2020年6月26日現在)

代表取締役社長	執行役員	北野晶	平野
代表取締役専務	執行役員	藤澤田	隆一郎
取締役常務執行役員	執行役員	池山	康宏
取締役常務執行役員	執行役員	菅木	寿男
取締役	執行役員	亀井	保男
取締役	執行役員	吉松	田原
取締役	執行役員	河野	文浩
常勤監査役	監査役	滝谷	政春
常勤監査役	監査役	大嶋	秀史
監査役	監査役	佐坪	郁美
専務執行役員	執行役員	古新	亮也
常務執行役員	執行役員	力石	彦志
常務執行役員	執行役員	北村	順一
フエ口	執行役員	吉田	一己
上席執行役員	執行役員	立石	知登
上席執行役員	執行役員	清高	比功
上席執行役員	執行役員	高比	三好
上席執行役員	執行役員	三好	繁洋
上席執行役員	執行役員	佐々木	中勝
執行役員	執行役員	大山	橋重
執行役員	執行役員	山平	岸博
執行役員	執行役員	坂本	暢泰
執行役員	執行役員	芝田	原稔
執行役員	執行役員	岡中	本村
執行役員	執行役員	清麻	水生
執行役員	執行役員	森田	野明
執行役員	執行役員	天野	康博
執行役員	執行役員	伊藤	修一
執行役員	執行役員	平野	間浩
執行役員	執行役員	佐々木	昌宏

- (注) 1. 取締役のうち吉田宏、松原文雄、河野浩二氏は、社外取締役であります。
2. 監査役のうち滝谷政春、佐藤郁美氏は、社外監査役であります。



# ダイダンネットワーク

30 本店

31 大阪本社

32 天理支店

33 神戸支店

34 京都支店

35 和歌山営業所

36 滋賀営業所

37 中国支店

38 岡山支店

39 山口営業所

40 山陰営業所

41 四国支店

42 松山営業所

43 高知営業所

44 徳島営業所

45 九州支社

46 熊本支店

47 宮田営業所

48 佐賀営業所

49 長崎営業所

50 大分営業所

51 宮崎営業所

52 鹿児島営業所

53 沖縄営業所

11 技術研究所

12 東京本社

13 関東支店

14 横浜支店

15 千葉支店

16 群馬営業所

17 栃木営業所

18 茨城営業所

19 長野営業所

20 松本営業所

27 北陸支店

28 富山営業所

29 福井営業所

21 名古屋支社

22 豊田支店

23 三河営業所

24 静岡営業所

25 三重営業所

26 岐阜営業所

54 シンガポール支店

1 北海道支店

2 帯広営業所

3 函館営業所

4 東北支店

5 青森営業所

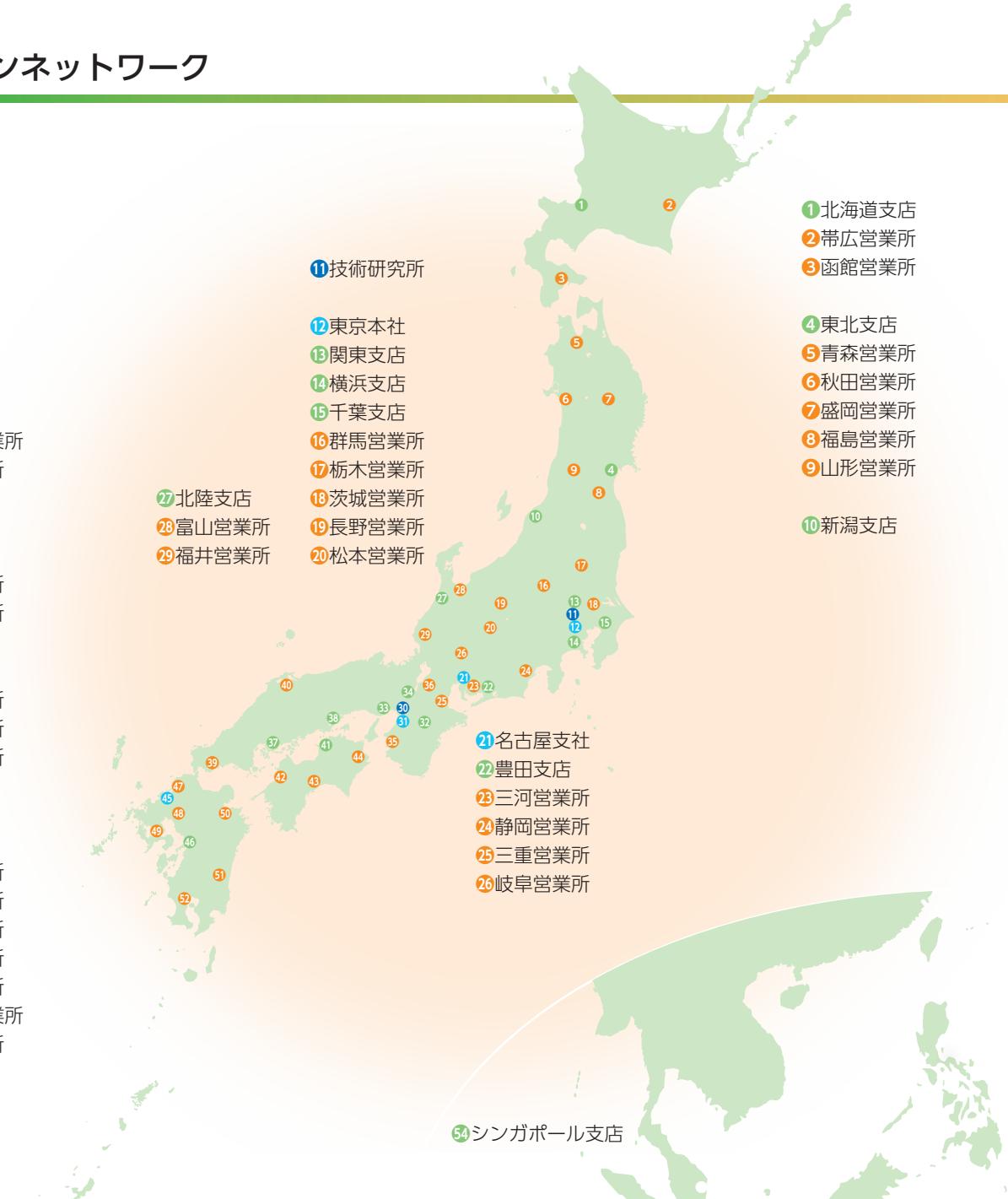
6 秋田営業所

7 盛岡営業所

8 福島営業所

9 山形営業所

10 新潟支店



## ホームページのご案内

当社のホームページでは、IR情報をはじめとして当社の各種情報を公開しておりますのでご覧ください。



<https://www.daidan.co.jp/>

## 「ダイダンレポート2019」を発行



当社の事業活動やCSR活動に加え、財務・非財務データを盛り込んだ統合的な企業レポート「ダイダンレポート」は、下記のホームページリンクよりダウンロードが可能です。

ダイダンレポート2019

<https://www.daidan.co.jp/csr/report.html>

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
1単元の株式の数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)
公告方法	電子公告により行います。 当社ホームページに掲載いたします。 ( <a href="https://www.daidan.co.jp/finance/koukoku/">https://www.daidan.co.jp/finance/koukoku/</a> )
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部

UD  
FONT



**ダイダン株式会社**

〒550-8520  
大阪市西区江戸堀1丁目9番25号  
電話 (06) 6447-8000